

南風原町の少年非行の現状を問う

答 令和6年の補導人数は137人だった



大城 重太 議員



問 南風原町における少年非行の現状はどうなっているか。また、それに対応するための地域や行政の取り組みを行っているか。

教育長 本町における令和6年中の状況は、不良行為を行った少年の補導人数が137人となっている。これに対応する取り組みとしては、青少年の被害・非行防止町民大会の開催や、町青少年協・中学校PTA・地域有志による夜間街頭指導などを行っている。

問 令和5年より15件増えている増加傾向にある。私も保護司やPTAの立場で夜間パトロールを行ったりしているが、それだけでは実態が把握できないというのが現状だ。ここでこそコミュニティ・スクールの力の見せ所だと感じている。学校運営協議会を中心に、地域と学校、関係機関がもっと深く情報交換をする必要があると思うがどうか。

学校教育課長 学校運営協議会においては、児童生徒の問題行動は委員に情報共有していると報告を受けている。

問 過去に行っていた教育懇談会をこういった時だからこそ開催して、学校、地域、社会教育団体、関係機関が意見交換、情報交換をしようか。
生涯学習文化課長 非常にいい意見だと思う。参考に研究して実施に向けて取り組んでいきたい。

タブレットでの電子投票の導入を

問 投票票作業の時間短縮や集計作業の負担軽減、疑問票、無効票をめぐる疑義の解消を目指し、タブレットを用いた電子投票を導入してはどうか。

総務課長 効率化が図られる点では調査をする必要があると思う。電子投票制度にかかる費用や補助金等も調査した

り、実際に実施した自治体を調査しながら今後に向けて検討していきたい。

花・水・緑の 大回廊公園の修繕を

問 駐車場を囲むフェンスや公園内を通る河川の防護柵が腐食して危険な状況である。早めの取替えを要望するがどうか。



公園内を通る河川の防護柵

副町長 公園施設長寿命化計画に基づき、河川を囲む防護柵及びフェンスは令和8年度に、駐車場を囲むフェンスは令和10年度以降に更新を予定している。